

**2021 年度**  
**「学際融合を推進し社会実装を担う次世代挑戦的研究者育成プロジェクト生」**  
**募集要項**

学際融合を推進し社会実装を担う次世代挑戦的研究者育成プロジェクト（以下「本プロジェクト」という。）では、大阪大学大学院博士後期課程在籍者（4年制博士課程在籍者、5年一貫制博士課程の第3年次から第5年次に在籍する者を含む）を対象に履修生（以下、「プロジェクト生」という。）選抜を実施します。

### プロジェクトの目的

大阪大学では、「卓抜した研究力で変容する社会と呼应しながら、先を読み柔軟な対応で自らの研究を高め、未来社会を創造する人材」こそ、社会から求められる力強い博士人材と考え、この人材を集中的に育成するプロジェクトを実施します。博士人材としてまず求められるものは圧倒的な研究実践力です。この研究実践力に加え、自らの研究でどのように未来社会を創造していくかという社会実装力が博士人材には必要です。本プロジェクトでは全ての研究科の学生を対象とし、社会において即戦力となり未来社会を創造するコンピテンシーをもつ学生の育成を目的に、既存の枠を越えて産学・社学共創育成、国際性涵養、学際融合育成、トランスファラブルスキル育成等の教育を行います。本学全体から自らの研究成果を社会に呼应させる気概のある学生を書類選考と面接により選抜します。

### プロジェクトに受け入れる学生像（アドミッション・ポリシー）

自らの研究で社会課題をどのように解決するかビジョンや夢をもつ学生を受け入れます。課題を発掘し、その課題解決方法を複数知っており、解決する突破力をもつことが今後の未来社会を創造する次世代挑戦的研究者には必要です。大阪大学が推進する新たな大学院教育スタイルである「学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム」(Double-Wing Academic Architecture : DWAA) の仕組みと考え方<sup>※1</sup>を理解し、未来社会の創造に貢献する志の強い人材を求めます。また、本学では女性の若手研究者育成にも力を入れていますので、女性博士学生からの積極的な応募を期待しています。

なお、本プロジェクトは科学技術振興機構（JST）の支援を受けており、将来、我が国の科学技術・イノベーション創出を担う優秀な志ある若手次世代挑戦的研究者の育成が期待されています。

### プロジェクト参加にあたり求められること

- 1) 求められる単位を取得し、教育を受けること
  - 2) 修了審査を受けること
  - 3) 本学が行う研究倫理教育及び公的研究費の適正な取扱いに関するコンプライアンス教育を受講すること
  - 4) JST から求められる大学横断的學生交流会への参加
  - 5) JST からのモニタリング、フォローアップ調査を受けること
  - 6) JST からの進路調査を10年以上にわたり受けること
  - 7) その他、本プロジェクト遂行に必要なこと
- 4) 5) 6) のため、プロジェクト生のメールアドレス等を JST に届ける必要があります。

※1 詳細は、<http://itgp.osaka-u.ac.jp/>を参照してください。

### プロジェクトに応募できない学生

- (1) 本学のフェローシップ創設事業による研究専念支援金及び研究費の支給を受けている者
- (2) 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員として採用されている者
- (3) 本学、国、企業等から安定的に生活費相当額として十分な水準で、給与、役員報酬等の収入を得ていると認められる者<sup>※2</sup>
- (4) 国費外国人留学生制度による支援を受けている外国人留学生
- (5) 母国からの奨学金等の支援を受けている外国人留学生
- (6) プロジェクト生が在籍している当該課程に入学してから3年、生命機能研究科の博士課程は3年次から3年、医学系研究科医学専攻、歯学研究科及び薬学研究科医療薬学専攻は入学してから4年を超過している者（年数はいずれも休学期間を除く）

---

※2 生活費相当額として十分な水準とは、240万円/年とします。

## 1. プロジェクト概要

大阪大学（以下「本学」という。）では、学際融合(知と知の融合)と社会実装(社会と知の統合)を意識したプログラムを設定し、未来社会の創造に貢献できる人材育成を進めるため、「学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院システム Double-Wing Academic Architecture(DWAA)」を2020年度から博士課程教育リーディングプログラムや卓越大学院プログラムにおいて先行的に実施し、2021年度から理工情報系オーナー大学院も含めて全学的に展開しています。本プロジェクトでは、(1)学際融合育成領域、(2)トランスファラブルスキル育成領域、(3)国際性涵養領域、(4)産学共創・社会学共創育成領域の4項目に分類した領域を設定します。本プロジェクトで採用された学生は3項目以上の領域から必修であるミキシングプレゼンテーション<sup>※3</sup>（1単位）を含む合計7単位以上修得し<sup>※4</sup>、修了審査を受けることを必須要件とします。これらの科目群は、いずれもDWAAの中の「知と知の融合」、「社会と知の統合」の 카테고리にも分類されており、専門性の探究に加えて、幅広い視野から俯瞰的に物事を見る能力を修得できる内容となっています。

## 2. 募集人員

420名

## 3. 申請資格

次に掲げる事項をすべて満たす者としてします。

- (1) 2021年10月1日時点において、本学大学院の博士（後期）課程の学生として在学する者  
※医学系研究科医学専攻、歯学研究科及び薬学研究科医療薬学専攻にあつては、2021年10月1日時点で博士課程の者  
※生命機能研究科にあつては、博士課程第3年次から第5年次の者  
（修士課程の修了に相当する要件を満たしていると認められた者に限りませぬ）
- (2) 採用後、本プロジェクトが課す活動に必ず参加する者
- (3) 本プロジェクトが定める修了要件を満たし、修了審査を受ける者
- (4) 本学の「学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム Double-Wing Academic Architecture (DWAA)」の仕組みと考え方を理解している者

ただし、以下に該当するものは応募できません。

- (1) 本学のフェローシップ創設事業による研究専念支援金及び研究費の支給を受けている者
- (2) 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員として採用されている者
- (3) 本学、国、企業等から生活費相当額として十分な水準で、給与、役員報酬等の安定的な収入を得ていると認められる者<sup>※5</sup>

※3 ミキシングプレゼンテーションについては、P.8を参照してください。

※4 ただし、2021年度採用のプロジェクト生においては、経過措置として、博士後期課程3年次生（4年制博士課程4年次生、5年一貫制博士課程の5年次生含む）は1単位以上、博士後期課程2年次生（4年制博士課程3年次生、5年一貫制博士課程の4年次生含む）は3単位以上、博士後期課程1年次生（4年制博士課程2年次生、5年一貫制博士課程の3年次生含む）は5単位以上修得するものとします。  
なお、申請時において休学経験者の必要修得単位数については、採用後別途通知します。

※5 生活費相当額として十分な水準とは、240万円/年とします。

- (4) 国費外国人留学生制度による支援を受けている外国人留学生
- (5) 母国からの奨学金等の支援を受けている外国人留学生
- (6) プロジェクト生が在籍している当該課程に入学してから3年、生命機能研究科の博士課程は3年次から3年、医学系研究科医学専攻、歯学研究科及び薬学研究科医療薬学専攻は入学してから4年を超過している者（年数はいずれも休学期間を除く）

#### 4. 申請手続き

「3. 申請資格」に該当する者で、本プロジェクトの申請を希望する者は、下記の要領で申請手続きを行ってください。

##### 4-1. 申請方法

以下に掲げる事項すべてを申請受付期間内に完了してください。

- (1) 申請者本人からのWEBでの申請登録
- (2) NII FileSenderでの申請書類送付
- (3) 指導教員からのWEBでの「推薦書」及び「合格時の履修承諾書登録」（事前に申請について指導教員の許可を得ること）

##### 4-1-1. 申請者本人からのWEBでの申請登録方法

以下のURLから必要情報を入力し、送信してください。送信後、申請番号が記載されている返信メールが、本学が交付しているメールアドレス(大阪大学個人ID @ecs.osaka-u.ac.jp)宛に届きます。申請番号は申請時のみならず、合格発表時の確認や採用時の手続き等にも必要となりますので、大切に保管してください。

申請登録 URL (マイハンドアイ)

[https://my.osaka-u.ac.jp/admin/education\\_refine/jisedai\\_apply](https://my.osaka-u.ac.jp/admin/education_refine/jisedai_apply)

##### 4-1-2. NII FileSenderでの申請書類送付方法

申請登録後、申請書類の「申請理由及び研究計画書(様式1)」及び「履歴書(様式2)」をまとめてPDFに変換のうえ、NII FileSender (<https://filesender.nii.ac.jp/>) で [handai-jisedai-apply@office.osaka-u.ac.jp](mailto:handai-jisedai-apply@office.osaka-u.ac.jp) へ送付してください。その際、メールの件名及びファイル名を『【申請番号】【氏名】』としてください。(メールの件名等の記入例) 件名: 01 阪大太郎) 個人情報保護のため、メールへの添付は行わず、必ずNII FileSenderを利用してください。

また、出願書類をNII FileSenderで送付した後、メール件名を「申請番号+氏名 送信完了」として、[handai-jisedai-apply@office.osaka-u.ac.jp](mailto:handai-jisedai-apply@office.osaka-u.ac.jp) 宛に空メールを送付してください。

NII FileSender は国立情報学研究所が提供している大容量ファイル送信サービスです。ファイルは暗号化してサーバに保存され、ファイル通信時はSSLによる暗号通信で守られます。利用には大阪大学個人IDおよびパスワードが必要となります。利用方法の詳細は下記マニュアルからご確認ください。

NII FileSender 利用マニュアル :

<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/pages/viewpage.action?pageId=67614082>

学術認証フェデレーションによるログイン方法 :

<https://web.auth.osaka-u.ac.jp/gakunin/ds-login.html>

#### 4-1-3. 指導教員からの WEB での「推薦書」及び「合格時の履修承諾書」登録方法

申請登録後、申請番号を指導教員に申請者自身がお知らせしてください。指導教員は以下の URL にての必要情報を入力することにより、「推薦書」及び「合格時の履修承諾書」を登録してください。

登録 URL (マイハンダイ)

[https://my.osaka-u.ac.jp/admin/education\\_refine/jisedai-suisen](https://my.osaka-u.ac.jp/admin/education_refine/jisedai-suisen)

#### 4-2. 申請受付期間

2021 年 10 月 1 日 (金) ~ 10 月 13 日 (水) 17:00【期限厳守】

#### 4-3. 申請に要する書類等一覧

	書類又は手続き	内容・留意事項等
①	申請登録	マイハンダイから登録。 (P.4「4-1-1. 申請登録方法」参照)
②	写真データ	上半身脱帽正面向きで、3ヶ月以内に単身撮影したものの。③の申請理由及び研究計画書に貼付してください。
③	申請理由及び研究計画書 (様式 1)	様式 1、2 をまとめて PDF 形式に変換のうえ、NII FileSender で送付。 (P.4「4-1-2. 申請電子ファイル送信方法」参照)
④	履歴書 (様式 2)	
⑤	指導教員の推薦書・合格時の履修承諾書	指導教員がマイハンダイから登録。申請番号の入力要。 (P.5「4-1-3. 指導教員の「推薦書」及び「合格時の履修承諾書」登録方法」参照)

- ・申請書類に不備のある場合は受理できません。
- ・申請には所定の様式を使用すること。変更は認められません。
- ・申請登録及び申請書類の提出後、その記載事項を変更し、または補充することは認められません。

#### 5. 検定料

検定料は必要ありません

#### 6. 面接審査について

##### 6-1. 審査の実施について

書類選考合格者を対象に、提出された動画 (選考用動画) により面接審査を実施します。書類審査の合格発表から提出期限まで猶予が無いため、予め選考用動画を作成し、提出の準備をしておいてください。選考用動画は、別紙作成要領に基づき、パワーポイント 3 枚以内 (3 分以内、30MB 以内) でまとめてください。

ただし、書類審査の結果、別途質問事項が要求されることがあります。その該当者は質問事項に対する回答をパワーポイントの最後に 4 枚目として追加してください (別途質問事項に対する回答は上述の 3 枚、3 分、30MB 以内に含めません)。別途質問事項が要求されているかどうかは、ホームページにおける書類選考合格発表時 (10 月 19 日 15 時予定) に該当申請番号を別掲するので、それによりご確認ください。該当申請者には質問事項の内容を同日 16 時 (予定) までにメールにて連絡します。

また、選考用動画による面接審査後、場合によっては10月27日(水)にオンラインで面接官と対話形式による面接審査を行うこともあります。その場合は10月25日(月)15時までに本人にメールにて連絡します。

## 6-2. 選考用動画の概要について

選考用動画の作成要領や提出方法については、別紙をご覧ください。

## 7. 選抜についての注意

- (1) 選抜審査は、書類審査及び面接審査により行います。
- (2) 最終合格発表において合格通知を受けた者は、メール等にて別途通知される手続きに期日までに対応する必要があります。

## 8. 最終合格発表

最終合格発表は、以下のホームページにより申請番号を掲載することにより発表します。電話による合否の問合せには応じません。

## 9. 合格後の手続きについて

最終合格者は、別途採用手続きが必要になります。詳細はホームページに掲載します。採用後、プロジェクト説明会を開催しますので、必ず参加してください。

## 10. 選抜プロセス

選抜プロセス(内容)	期日	備考
申請受付	2021年10月1日(金)～ 同10月13日(水)17:00(厳守)	P.4「4. 申請手続き」参照 締切間際には書類送付に 時間を要することもある ので余裕をもって申請し てください。
書類審査合格発表	2021年10月19日(火)15:00	ホームページ <sup>※6</sup> に合格者 の申請番号を発表
選考用動画提出受付	2021年10月19日(火)～22日(金) のいずれか	申請番号により異なる
直接面接	2021年10月27日(水) ※必要に応じて実施 ※日時の変更は認められません。	オンラインで実施 該当する人には10月 25日(月)15時までに 連絡します。
最終合格発表	2021年10月29日(金)17:00	ホームページ <sup>※6</sup> に合格者 の申請番号を発表

※6 ホームページ URL: <https://itgp.osaka-u.ac.jp/jisedai/> (現在準備中)

## 11.研究奨励費及び研究費

研究奨励費…月額15万円<sup>※7</sup>

研究費……………年額60万円<sup>※8, ※9</sup>

## 12.支給期間

令和3年10月1日から修了までの期間のうち、プロジェクト生が在籍している当該課程に入学してから3年、生命機能研究科の博士課程は3年次から3年、医学系研究科医学専攻、歯学研究科及び薬学研究科医療薬学専攻は入学してから4年を超過しない期間（年数はいずれも休学期間を除く）

## 13.個人情報の取扱いについて

申請時に提出された個人情報は「選抜試験（申請処理、審査実施）」、「採用通知」「採用手続」等の業務および本プロジェクトに関する業務を行うために利用されます。また、所属研究科及び本学が実施する教育プログラム等実施担当部署、奨学金関連担当部署等学内での活動に関する必要な情報として依頼があった場合は、申請情報および合格、採用情報等の情報を提供します。

また、本プロジェクト生の氏名・所属などがホームページ等に公表されるとともに、氏名・所属・メールアドレス・研究テーマ等はJSTに提供されます。

## 14.注意事項

- (1) 身体に障がい等があり、申請に際して特別な配慮を希望する場合は、原則として申請前に下記問合せ先にご連絡ください。
- (2) 現時点で受給（内定含む）している奨学金等がある場合は、併給可否に関わらず、申請前の段階で必ず奨学金等担当窓口の本プロジェクトへの申請可否の確認を行ってください。
- (3) 本プロジェクト申請後、申請を辞退する場合には、可能な限り早期に下記問い合わせ先への旨をご連絡ください。
- (4) 申請書類に虚偽が発見された場合は、採用後であっても採用を取り消すことがあります。
- (5) 履修期間中はプロジェクト参加にあたり求められること（P.1参照）を遵守するようご注意ください。守られない場合、支給の停止、返還請求等の対応を取ることがあります。

## 15.各種問合せ先

大阪大学国際共創大学院支援事務室

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番2号

最先端医療イノベーションセンター棟 3F 321号室

問合せフォーム：<https://forms.gle/yt5gR1r539cLu3W76>

※問合せは上記フォームからのみ受け付けます。

※7 研究奨励費は課税所得（雑所得）と扱われ、課税の対象となります。各自で税の申告・納税を行う必要があります。

※8 ただし、2021年度は30万円の配分となります。年度を跨いでの使用はできません。

※9 プロジェクトでの活動に応じて、研究費を増額することがあります。

## 【ミキシングプレゼンテーション】

ミキシングプレゼンテーションは、自らの研究内容をわかりやすく短時間で説明する力、共同研究の申し出があった時に対応する力を身につけることを目的とします。

発表者は事前にプレゼンテーションのタイトル、要旨を A4 1 枚にまとめ、プロジェクト生に公開します。参加者（事前予約制）はあらかじめ発表内容に目を通し、共同研究を提案できないかどうか考えておきます。発表当日、プレゼンテーション（10 分、日本語でも英語でも可）、それに対する質疑応答（5 分）をオンラインにて行い、後日参加者から共同研究の提案があれば提案者と共同研究を実現できるか協議します。実際に共同研究を実現できそうなら、共同研究計画書を事務局に提出し審査後、追加研究費が支給されます。共同研究の結果は別途報告する必要があります。

ミキシングプレゼンテーションは 1 回あたり 90 分で、1 回あたりの最大発表者数は 6 名です。合計 8 回参加し、求められるレポートを提出し合格すれば 1 単位を取得できます。ただし、8 回のうち原則 1 回は発表者として参加する必要があります。